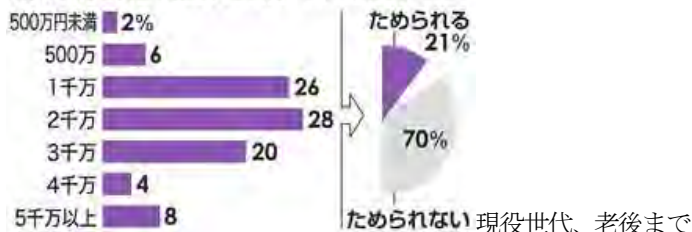


老後の必要資金「ためられない」7割 朝日新聞世論調査

朝日新聞デジタル2020年1月11日 10時21分

現役世代、老後までに必要な蓄え「その他答えない」は省略



に必要な蓄え

朝日新聞社は「長寿時代のお金意識」をテーマに郵送方式の世論調査を行った。必要な老後資金について、年金をまだ受け取っていない現役世代の70%が「ためられない」と答えた。「ためられる」は21%にとどまった。何歳まで生きたいかを聞くと、「ためられない」人の方が低い年齢を回答する傾向があり、先行きの不安が長生きしたいという意欲にまで影響しているようだ。

老後に必要な資金については、老齢年金を受給中と回答した年金世代（全体の39%）と、現役世代（同59%）で別の質問をした。

現役世代にはまず、退職金を含めて老後までにいくら蓄える必要があると思うかを尋ねた。「2千万円」が最も多く28%。「1千万円」「2千万円」「3千万円」を合わせると74%を占めた。

重ねてその必要額をためられるかを聞くと、「ためられる」は21%。雇用形態が非正規雇用の人に限ると12%で、特に低かった。

年金世代には、必要と思う老後資金をためられたかを聞いた。「ためられた」は18%、「ためられなかった」72%だった。

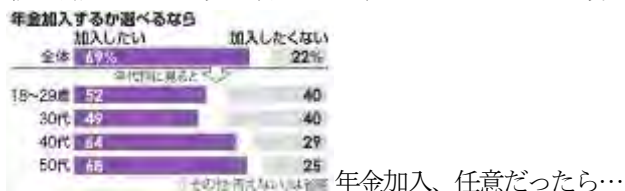
何歳まで生きたいかとの質問には、現役世代の46%が「80歳」と答え、「60歳」「70歳」が計24%、「90歳」「100歳以上」が計26%だった。平均寿命より短い「60歳」「70歳」の回答は、老後資金を「ためられる」人の計18%と比べると、「ためられない」人が計26%と高めだった。

世帯の貯蓄の有無を聞くと、現...

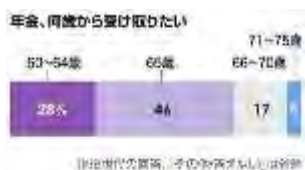
残り：222文字／全文：811文字

「年金制度に不安」現役世代72% 朝日新聞世論調査

朝日新聞デジタル渡辺康人2020年1月11日 10時20分



年金加入、任意だったら...



公的年金の少子高齢化対策は...



安倍政権が「最大のチャレンジ」と位置づける社会保障改革。朝日新聞社が実施した世論調査（郵送）では「支え手」となる現役世代に、年金制度に対する不安と不信が根強いことが浮き彫りになった。制度改革の方向性についても世代間のギャップが見られる。合意形成には丁寧な説明が求められそうだ。

公的年金制度は「必要だ」は全体の90%。「ねんきん定期便」や「年金振込通知書」を「読んでいる」は69%に上り、関心は低い。

一方で、公的年金制度の将来に不安を「大いに感じる」は66%。年金受給中の世代の56%に対し、現役世代では72%に達した。

制度への不安が、不信感にまでつながっている。現役世代の31%が公的年金に加入するか選べるとしたら「加入したくない」と答えた。「加入したくない」は若年層ほど多く、30代以下では4割に上った。

理解不足が不安を大きくしている側面もあるようだ。年金制度の仕組みを「よく理解している」は4%にとどまり、「ある程度理解している」は51%。「理解していない」は「あまり」と「まったく」合わせて44%。年金制度の将来不安を「大いに感じる」は、制度を「理解している」人だと62%だったが、「理解していない」人では70%と高めだった。

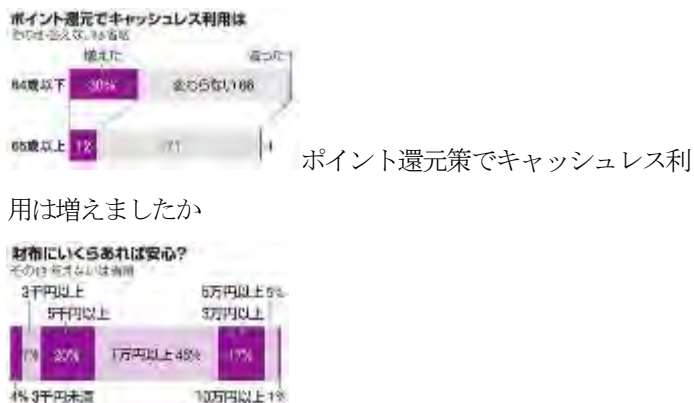
公的年金だけでは老後の生活費が2千万円不足するとした報告書が昨年注目された。公的年金が果たすべき役割を聞くと、全体の56%が「生活費をまかなえる」と答え、「生活費の一部を支える」の43%を上回った。年金制度について、政府が国民に「わかりやすく説明している」は全体の11%にとどまり、「わかりやすく説明していない」が83%だった。

■高齢者も働く社会に...

残り：1041文字／全文：1734文字

還元策でキャッシュレス「増えた」23% 朝日世論調査

朝日新聞デジタル磯田和昭2020年1月11日 18時25分



昨年10月の消費増税時に導入されたキャッシュレス決済へのポイント還元制度。朝日新聞社が実施した世論調査（郵送）によると、この還元策でキャッシュレス決済が「増えた」のは23%。



思う23▽思わない72

◆あなたの世帯は、貯蓄がありますか。

ある59▽ない38

◇(貯蓄があると答えた人に)貯蓄は主に何のためですか。(複数回答)

教育23▽住宅17▽高額な品を買う4▽旅行・レジャー25  
▽病気や介護の備え58▽老後の生活費76▽子や孫に残す18▽特に目的はない5

◆健康に、どの程度気を使っていますか。

大いに気を使っている17▽ある程度気を使っている65▽あまり気を使っていない16▽まったく気を使っていない2

◆何歳ぐらいまで生きたいですか。

60歳4▽70歳13▽80歳43▽90歳28▽100歳以上7

◆老後にかかるお金をどうするか、考えていますか。

考えている61▽考えていない35

◆老後は次のうち、どちらに住むと思いますか。

持ち家80▽賃貸住宅15

◆自分の老後の暮らしには、現役時代の何割程度の生活費が必要だと思いますか。

1割0▽2割1▽3割4▽4割4▽5割17▽6割13▽7割23▽8割21▽9割3▽10割7

◆老後にお金の不安をどのぐらい感じますか。

大いに感じる49▽ある程度感じる41▽あまり感じない8▽まったく感じない1

◆次に挙げることがらについて、老後にお金の不安をどのぐらい感じますか。(A)日常生活にかかるお金

大いに感じる42▽ある程度感じる44▽あまり感じない13▽まったく感じない1

(B)住まいにかかるお金

大いに感じる32▽ある程度感じる45▽あまり感じない19▽まったく感じない2

(C)病気や介護にかかるお金

大いに感じる60▽ある程度感じる33▽あまり感じない5▽まったく感じない1

(D)人とのつきあいにかかるお金

大いに感じる9▽ある程度感じる48▽あまり感じない37▽まったく感じない5

◆老後の年金を受け取っていますか。

受け取っている39▽まだ受け取っていない59

◇(老後の年金を受け取っていると答えた人に)老後を迎えるまでに、必要と思うだけのお金がためられましたか。

ためられた18▽ためられなかった72

◇(老後の年金を受け取っていないと答えた人に)老後を迎えるまでに、退職金を含めていくらかのお金をためておくことが必要だと思いますか。

500万円未満2▽500万円6▽1千万円26▽2千万円28▽3千万円20▽4千万円4▽5千万円以上8

◇(老後の年金を受け取っていないと答えた人に)老後を迎えるまでに、前問で答えた金額がためられると思いますか。

ためられる21▽ためられない70

◆公的年金(国民年金、厚生年金)は、制度として必要だと思いますか。

必要だ90▽必要ではない7

◆公的年金が果たすべき役割は、次のどちらだと思いますか。

生活費がまかなえる56▽生活費の一部を支える43

◆公的年金制度は20歳以上の国民全員に加入の義務があります。もし加入するかどうかを選べるとしたら、どうしますか。

加入したい69▽加入したくない22

◆政府は「ねんきん定期便」や「年金振込通知書」を公的年金の加入者や受給者に郵送し、加入記録や受給額などの情報を提供しています。これらの内容を読んでいますか。

読んでいる69▽読んでいない28

◆年金制度の仕組みをどのぐらい理解していますか。

よく理解している4▽ある程度理解している51▽あまり理解していない39▽まったく理解していない5

◆年金制度の仕組みについて、政府は国民にわかりやすく説明していると思いますか。

わかりやすく説明している11▽わかりやすく説明していない83

◆公的年金制度の将来に、どの程度不安を感じますか。

大いに感じる66▽ある程度感じる30▽あまり感じない3▽まったく感じない0

◆老後の公的年金の受け取り水準は、少子高齢化の影響で今後、若い世代ほど低くなります。若い世代の将来の年金水準があまり下がらないようにするため、いま受け取っている人の年金額を減らすという考え方に、賛成ですか。反対ですか。

賛成25▽反対65

◆自営業者やアルバイトなどが入る国民年金は、保険料を満額納めた場合で、夫婦の受取額が月13万円です。この受取額をどう思いますか。

妥当だ22▽多すぎる1▽少なすぎる71

◆会社員らが入る厚生年金は、政府が示した平均年収の夫と専業主婦のモデルケースで、夫婦の受取額が月22万円です。この受取額をどう思いますか。

妥当だ47▽多すぎる7▽少なすぎる39

◆労働時間の短い非正規労働者は、厚生年金には入れない場合があります。希望しても厚生年金に入れない非正規労働者がいることは、どの程度問題だと思いますか。

大いに問題だ41▽ある程度問題だ46▽あまり問題ではない8▽まったく問題ではない2

◆いまの公的年金制度では、サラリーマン家庭の専業主婦や多くのパート主婦に、年金保険料の負担を求めています。この仕組みに賛成ですか。反対ですか。

賛成49▽反対42

◆公的年金の受け取り開始年齢は原則65歳からですが、60歳から70歳までの間で選ぶこともできます。開始年齢が早いほど月々の受給額は減り、遅いほど受給額は増えます。政府はこのルールを75歳まで広げることを検討しています。年金を何歳から受け取りたいですか。

60~64歳26▽65歳46▽66~70歳17▽71~75歳4

◆少子高齢化に対応した公的年金制度にするため、次の中から一つだけ対策を選ぶとしたらどれですか。

年金の受給額を減らす8▽年金の受給年齢を遅くする19▽保険料を高くする9▽保険料を納める期間を長くする20▽増税をして財源を補う24

◆老後の備えとして、公的年金以外に、確定拠出年金(DC、iDeCo)や国民年金基金といった私的年金に加入したいと思いませんか。

すでにしている・していた24▽したい29▽したいと思わない35

◆あなた自身は、65歳以降も生活のために働かなくてはならないと思いませんか。

働かなくてはならない68▽働かなくてよい23

◆いまの制度では、年金と給料をあわせて一定以上の収入がある高齢者は、厚生年金の受給額が減ります。この仕組みに、賛成ですか。反対ですか。

賛成53▽反対42

◆少子高齢化に対応するため、高齢者にも働いてもらう社会にしていくことに、賛成ですか。反対ですか。

賛成74▽反対18

◆いま、自由になるお金が100万円手に入ったとしたら、どうしますか。

ほしいものを買う8▽旅行や娯楽14▽預貯金59▽借金返済11▽投資5

◆何かものを買いたいという気持ちは、数年前と比べてどうなりましたか。

強くなった6▽弱くなった62▽変わらない30

◆数年前と比べて、節約するようになりましたか。

節約するようになった60▽それほどでもない37

◆いま節約している分野はどれですか。(複数回答)

食料品36▽外食53▽衣類66▽通信費19▽光熱費24▽医療費8▽保険15▽趣味41▽教育費4▽交際費37▽ない7

◆いまよりも節約しようと思っている分野はどれですか。(複数回答)

食料品29▽外食38▽衣類35▽通信費21▽光熱費24▽医療費7▽保険12▽趣味23▽教育費3▽交際費25▽ない18

◆10月に消費税が10%に上がりました。増税前と比べて、買い物の際に、値段を意識するようになりましたか。

意識するようになった44▽それほどでもない55

◆ネットを通じて、不用品を売買するサービスを使ってみたいと思いませんか。

すでに使っている16▽使ってみたい33▽使いたくない47

◆ふだんの買い物のときに、どちらかという、値段を重視するほうですか。品質を重視するほうですか。

値段53▽品質41

◆多少値段が高くても、健康によさそうなものを買うほうですか。高くても買うほう35▽そうではない61

◆老後に、特にお金をかけたいと思う分野はどれですか。(二つ

まで選択)

旅行32▽グルメ13▽健康や美容30▽趣味やレジャー35▽教養6▽子や孫との交流39▽友人との交流18

◆日本の経済の中で大きな割合を占める個人消費が、伸び悩んでいます。消費が伸びないのは、どうしてだと思いますか。

お金がないから45▽将来に備えているから44▽買いたいものがないから6

◆買い物をするときに、ポイントがつくかどうかを意識しますか。意識する61▽意識しない37

◆ふだん、現金が財布の中にくらあれば、安心できますか。

3千円未満4▽3千円以上7▽5千円以上20▽1万円以上45▽3万円以上17▽5万円以上5▽10万円以上1

◆買い物のときに、現金を使わずカードや電子マネーで決済する「キャッシュレス」をどの程度利用していますか。

よく利用している28▽ときどき利用している30▽あまり利用していない15▽まったく利用していない26

◆キャッシュレスで買い物をすることに、どんなイメージを持っていますか。(二つまで選択)

現金を持ち歩かなくてすむ27▽支払いがスムーズ43▽特典がつく27▽使いすぎてしまう37▽難しそう12▽セキュリティが不安33

◆消費増税後、キャッシュレスで買い物をすると、店によってはポイントが還元されるようになりました。このことで、あなたのキャッシュレスの利用はどうなりましたか。

増えた23▽減った1▽変わらない68

◇

〈調査方法〉全国の有権者から層化無作為2段抽出法で3千人を選び、郵送法で実施した。全国の縮図になるように335の投票区を選び、各投票区の選挙人名簿から平均9人を選んだ。昨年11月13日に調査票を発送し、12月24日までに届いた返送総数は2101。無記入の多いものや対象者以外の人が回答したものを除いた有効回答は2055で、回収率は69%。

有効回答の男女比は男45%、女54%、無記入1%。年代別では18・19歳1%、20代9%、30代11%、40代16%、50代17%、60代20%、70代17%、80歳以上9%、無記入0%。

## IR整備「見直しを」70% 自衛隊中東派遣は58%反対

2020/1/12 19:01 (JST)1/12 20:13 (JST)updated 共同通信社



### 安倍内閣支持率の推移

共同通信社が11、12両日実施した全国電話世論調査によると、カジノを含む統合型リゾート施設(IR)の汚職事件を受け、IR整備を70.6%が「見直すべきだ」と回答した。「このまま進めてよい」は21.2%。海上自衛隊の中東派遣については「反対」が58.4%

で「賛成」の34.4%を上回った。内閣支持率は49.3%で昨年12月の前回調査比6.6ポイント増。不支持は6.3ポイント減の36.7%だった。野党合流協議の難航などが背景にあるとみられる。

### IR整備「見直しを」70% 首相「桜」説明不足86%

東京新聞 2020年1月13日 朝刊  
共同通信社が十一、十二両日実施した全国電話世論調査によると、カジノを含む統合型リゾート施設（IR）の汚職事件を受け、IR整備を70・6%が「見直すべきだ」と回答した。「このまま進めてよい」は21・2%。海上自衛隊の中東派遣については「反対」が58・4%で「賛成」の34・4%を上回った。内閣支持率は49・3%で昨年12月の前回調査比6・6ポイント増。不支持は6・3ポイント減の36・7%だった。野党合流協議の難航などが背景にあるとみられる。

安倍政権は、IRを東京五輪・パラリンピック後の景気浮揚策と位置付けている。政府は二〇二一年以降、最大三カ所の整備地域を決め、二〇年代半ばの開業を見込むが、世論の理解をいかに得ていくかが問われそうだ。

首相主催の「桜を見る会」の疑惑に関して、安倍晋三首相は「十分説明していると思わない」とする回答は86・4%に上った。

衆院議員の任期は二一年十月まで。望ましい衆院解散・総選挙の時期については「東京五輪・パラリンピックの後」がトップで46・1%、「来年以降」が36・1%で続いた。立憲民主、国民民主両党の合流協議を巡り、合併に「期待しない」は69・3%で「期待する」の22・8%を大きく離れた。

日本経済の先行きに「不安」「ある程度不安」を感じているとの回答は計86・2%となった。

次の首相にふさわしい人を尋ねたところ、石破茂自民党元幹事長が18・2%でトップ。安倍首相は13・1%、小泉進次郎環境相は11・8%だった。首相の下での改憲に反対は52・2%で、賛成の35・9%を上回った。

政党支持率は、自民党が7・2ポイント増の43・2%。立憲民主党は3・9ポイント減の6・9%、国民民主党1・6%、公明党2・9%、共産党4・1%、日本維新の会4・4%、社民党1・1%、NHKから国民を守る党0・7%、れいわ新選組2・4%。「支持する政党はない」とした無党派層は31・5%だった。

### 「70歳超えても働く」60代の54% 日経郵送世論調査

2020/1/10 18:00 日本経済新聞 電子版  
日本経済新聞社が2019年秋に実施した郵送世論調査によると、70歳以上まで働くつもりだと答えた人が60歳代の54%にのぼった。18年秋に実施した前回の調査に比べて9ポイント増えた。「人生100年時代」を迎え、高齢者を中心に就労意識が大きく変わっていることが浮き彫りになった。政府も企業も、高齢者が働き続けることができる制度づくりが迫られている。何歳まで働くつもりかを選択肢を挙げて聞いた。「75歳…

政治が重視すべき世代は「現役」49%、「高齢者」20% 日経郵送

### 世論調査

2020/1/10 18:00 日本経済新聞 電子版

日本経済新聞の郵送世論調査で「政治は現状と比べて高齢者と現役世代のどちらを重視すべきか」を質問した。「現役」と答えた人は49%にのぼり、「現状を維持すべきだ」の28%、「高齢者」の20%を大きく上回った。現役世代の負担の重さを改善するよう求める声広がっているようだ。

現役と答えた人は若年層ほど多く、18～29歳で75%に達した。高齢世代でも60歳代は41%、70歳代は32%、80歳代以上で30…

### 数字で見るリアル世論 郵送調査2019

日経新聞 2020年1月10日公開

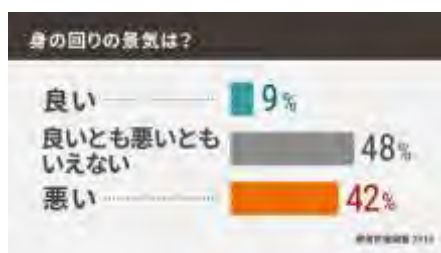
日本経済新聞社は郵送による世論調査を実施しました。前回の2018年調査と比べると、70歳以上になっても働く意欲を持っている人の割合が増えるなど、意識の変化が浮かび上がります。調査について

日経リサーチが2019年10～11月に全国の18歳以上の男女を無作為に抽出して郵送で実施。1677件の回答を得た。回答率は55.9%。

### 景気・暮らし

日用品の価格(税込み)が1年前よりどうなったかを聞いたところ、上がったと感じている人が81%を占めた。前回の2018年調査と比べて8ポイント上がった。

身の回りの景気は?



景気は1年前と比べると?



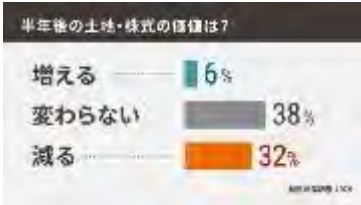
あなたの世帯の暮らし向きは?



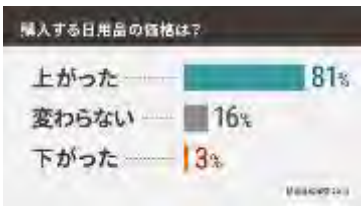
半年後の暮らし向きは?



半年後の土地・株式の価値は？



購入する日用品の価格は？



1年後の日用品の価格は？



世帯の収入は？

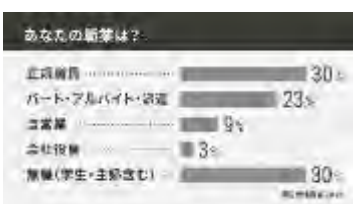


半年後の世帯収入は？



働き方・社会保障

70歳以上になっても働く意欲を持っている人が37%になった。  
前回より7ポイント上がった。  
あなたの職業は？



収入を1年前と比べると？



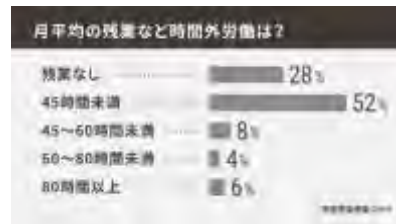
基本給を1年前と比べると？



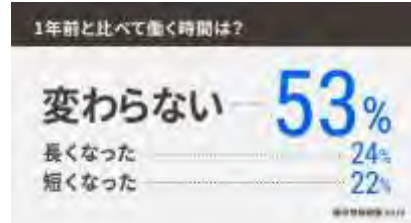
ボーナスを1年前と比べると？



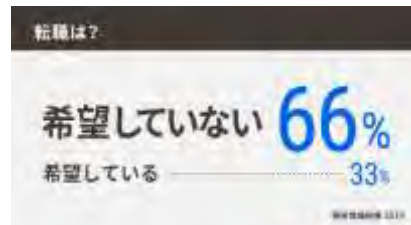
月平均の残業など時間外労働は？



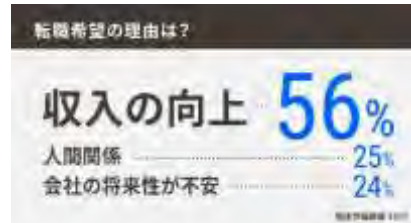
1年前と比べて働く時間は？



転職は？



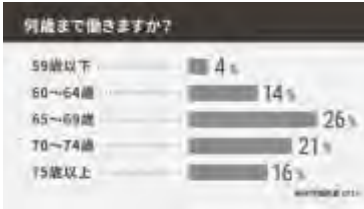
転職希望の理由は？



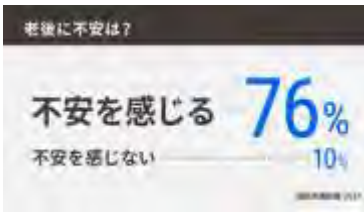
雇用環境を1年前と比べると？



何歳まで働きますか?



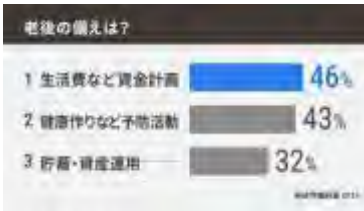
老後に不安は?



将来の不安は?



老後の備えは?



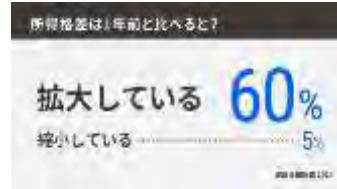
望ましい社会保障は?



望ましい消費税率は?



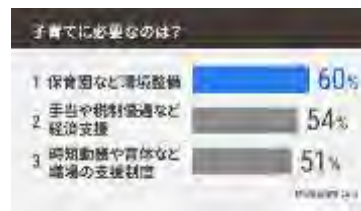
所得格差は1年前と比べると?



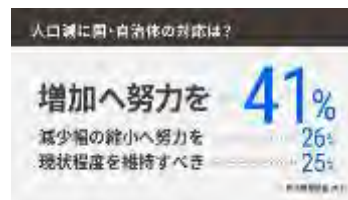
子育てのしやすさを100点満点で評価すると?



子育てに必要なのは?

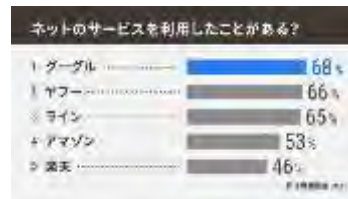


人口減に国・自治体の対応は?

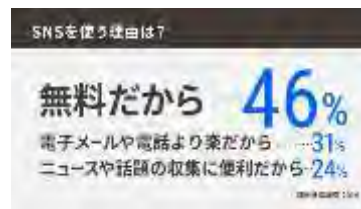


ネット

ネットのサービスを利用した人は、グーグルやヤフーではいずれも6割を超えた。前回とほぼ同じ割合だった。ネットのサービスを利用したことがある?



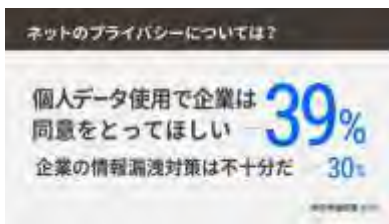
SNSを使う理由は?



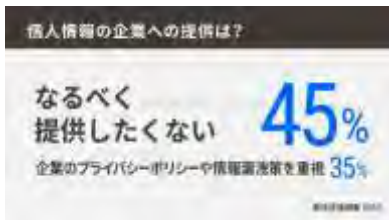
ネット情報は信頼できる?



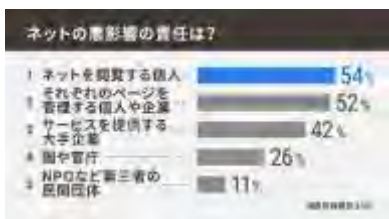
ネットのプライバシーについては？



個人情報の企業への提供は？



ネットの悪影響の責任は？



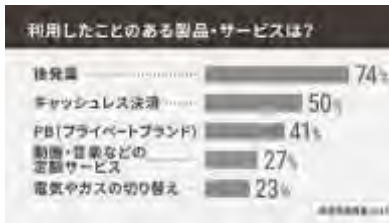
ネット技術の社会への影響は？



モノとサービス

家計負担が重い費目(3つまで複数回答)を聞いたところ、「食費」が47%で最多だった。「税・社会保障」の38%、「健康・医療」の28%が続いた。

利用したことのある製品・サービスは？



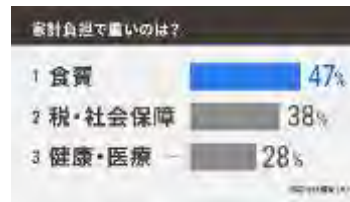
実店舗とネット通販、どちらが多い？



AIで自分の仕事は？



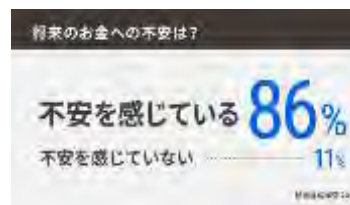
家計負担で重いのは？



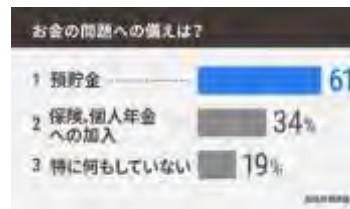
マネー

資産運用について複数回答で尋ねたところ「預貯金」が67%で最も多かった。2番目は前回と同じく「保険」だったが、前回より3ポイント減の25%だった。

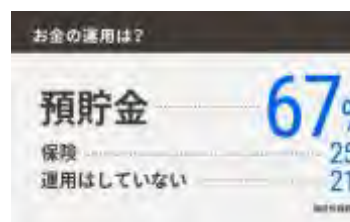
将来のお金への不安は？



お金の問題への備えは？



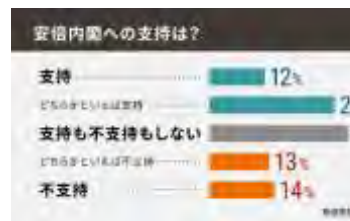
お金の運用は？



政治・外交

韓国への友好意識を聞いたところ「好き」は前回より8ポイント減の14%、「嫌い」は5ポイント増の66%だった。

安倍内閣への支持は？

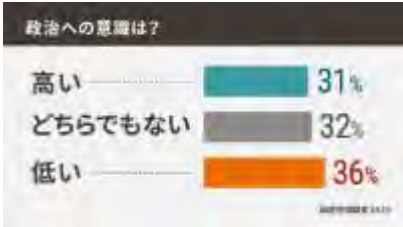


次の国政選挙で政党や政党候補者に投票したいか？





政治への意識は？



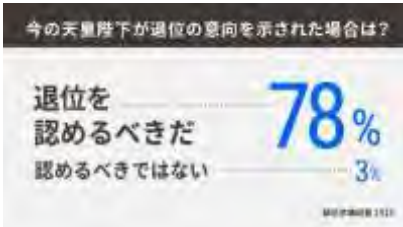
憲法改正は？



憲法への「自衛隊」明記は？



今の天皇陛下が退位の意向を示された場合は？



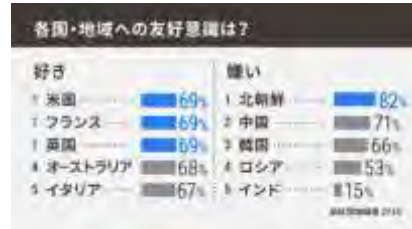
日本の組織・団体を信頼できる？



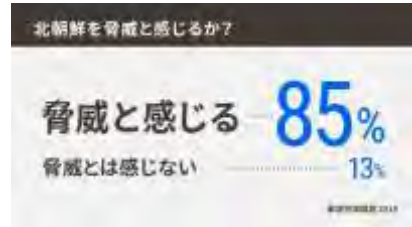
日本の国力への評価は？



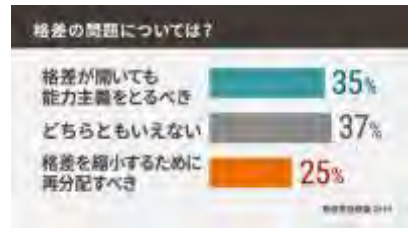
各国・地域への友好意識は？



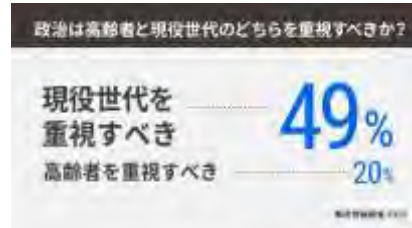
北朝鮮を脅威と感じますか？



格差の問題については？



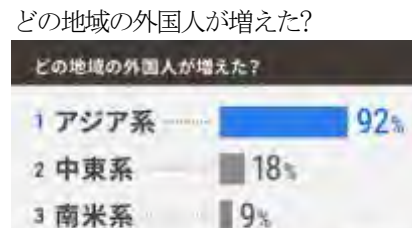
政治は高齢者と現役世代のどちらを重視すべきか？



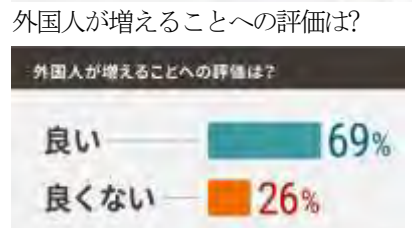
職場・地域で外国人は増えた？



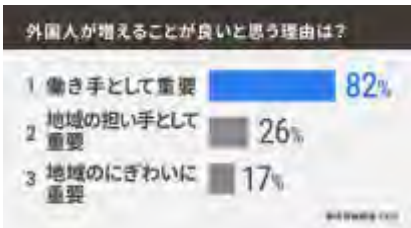
どの地域の外国人が増えた？



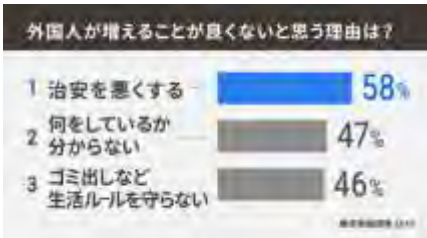
外国人が増えることへの評価は？



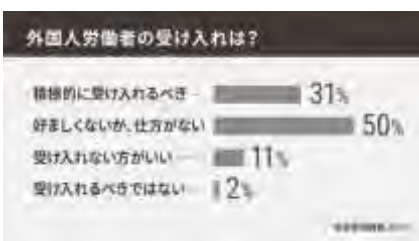
外国人が増えることが良いと思う理由は？



外国人が増えることが良くないと思う理由は？



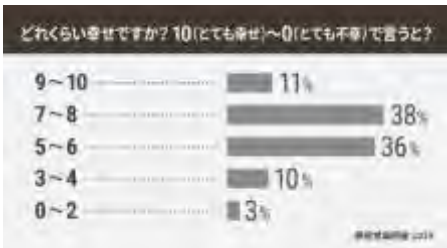
外国人労働者の受け入れは？



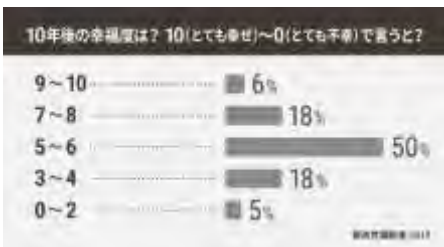
## 社会・科学技術

夫婦の役割分担を聞いた。炊事や掃除、洗濯について「夫も妻も同じように行く」は前回より3ポイント増の39%。「主に妻が行い、夫も手伝う」は3ポイント減の44%だった。

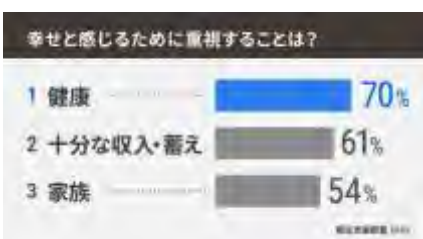
どれくらい幸せですか？ 10（とても幸せ）～0（とても不幸）で言うとうと？



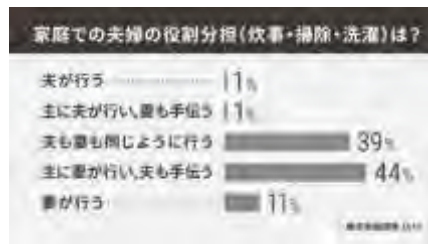
10年後の幸福度は？



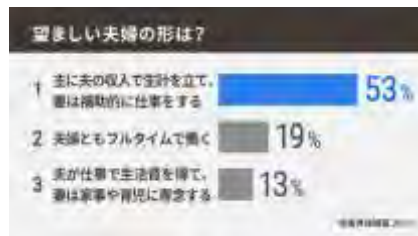
幸せと感ずるために重視することは？



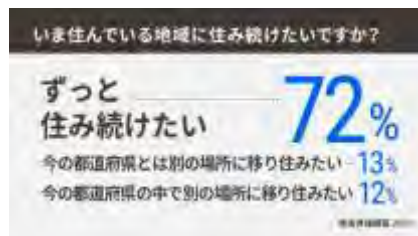
家庭での夫婦の役割分担（炊事・掃除・洗濯）は？



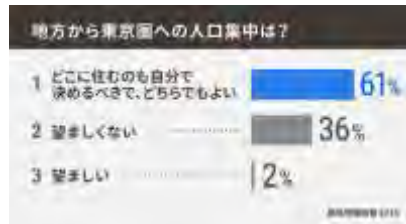
望ましい夫婦の形は？



いま住んでいる地域に住み続けたいですか？



地方から東京圏への人口集中は？



政府の科学技術政策で力を入れてほしい分野は？



## 【参考】 数字で見るリアル世論 郵送調査 2018

日経新聞 2019年01月21日 公開

数字で見るリアル世論 郵送調査 2018

日本経済新聞社は郵送による世論調査を実施しました。景気や暮らし、働き方、他国への印象などについての民意が浮かび上がります。

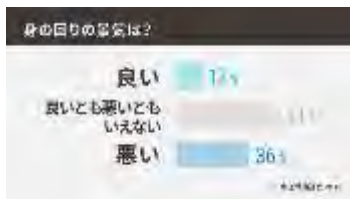
調査について

日経リサーチが2018年10～11月に全国の18歳以上の男女を無作為に抽出して郵送で実施。1673件の回答を得た。回答率は55.8%。

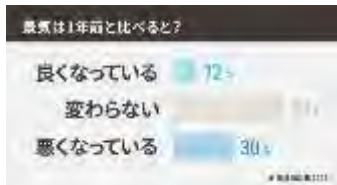
景気・暮らし

日用品の価格が1年前よりどうなったかを聞いたところ、上がったと感じている人が73%を占めた。1年後に上がると回答した人は83%だった。

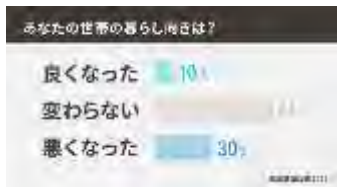
身の回りの景気は?



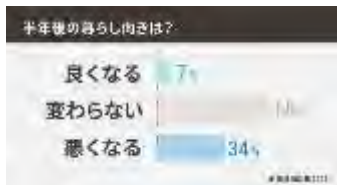
景気は1年前と比べると?



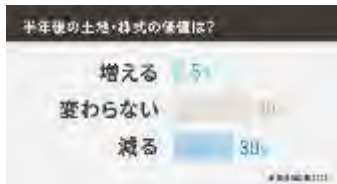
あなたの世帯の暮らし向きは?



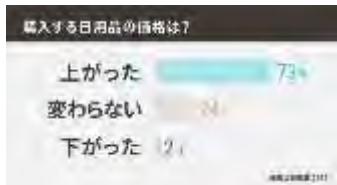
半年後の暮らし向きは?



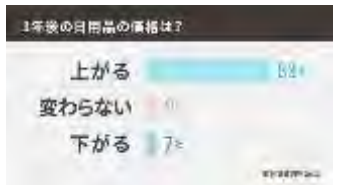
半年後の土地・株式の価値は?



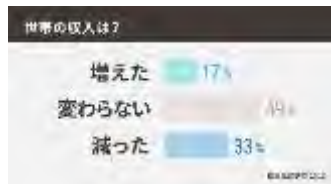
購入する日用品の価格は?



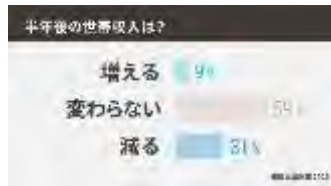
1年後の日用品の価格は?



世帯の収入は?



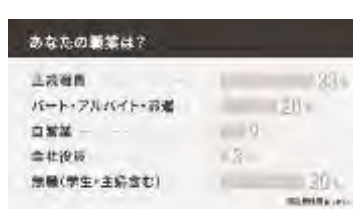
半年後の世帯収入は?



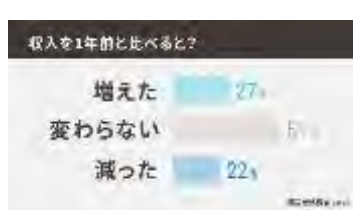
働き方・社会保障

70歳以上になっても働く意欲を持っている人が3割に上った。老後に不安を感じている人は77%。具体的な不安の内容を聞くと、健康の71%が最も多かった。

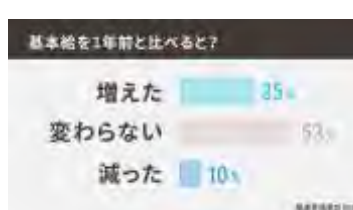
あなたの職業は?



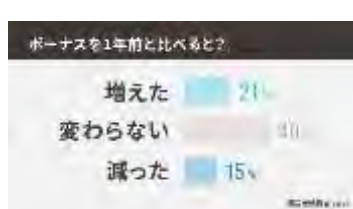
収入を1年前と比べると?



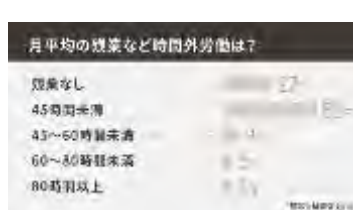
基本給を1年前と比べると?



ボーナスを1年前と比べると?



月平均の残業など時間外労働は?



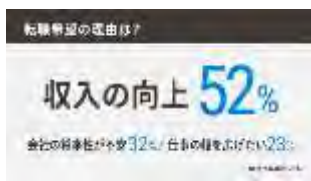
1年前と比べて働く時間は？



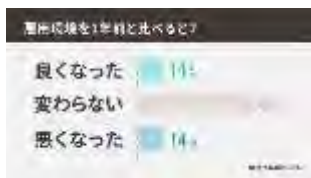
転職は？



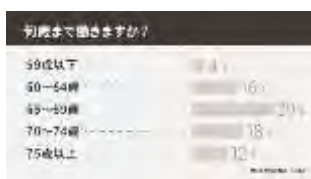
転職希望の理由は？



雇用環境を1年前と比べると？



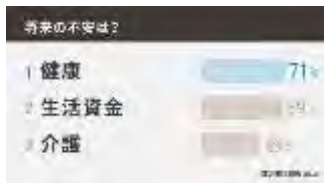
何歳まで働きますか？



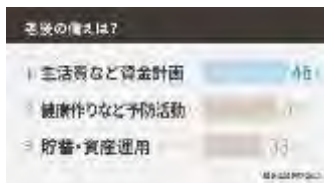
老後に不安は？



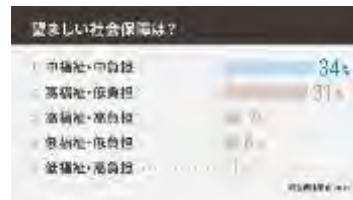
将来の不安は？



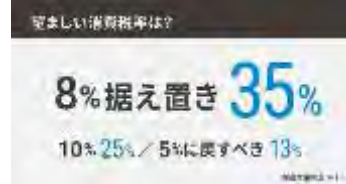
老後の備えは？



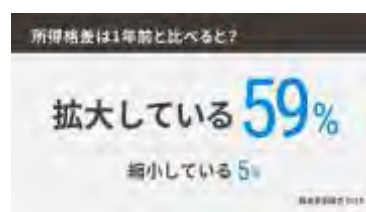
望ましい社会保障は？



望ましい消費税率は？



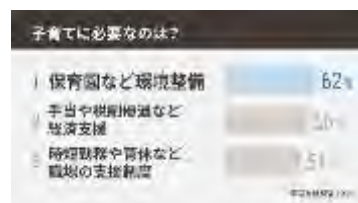
所得格差は1年前と比べると？



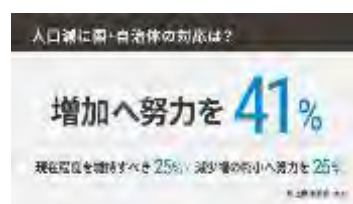
子育てのしやすさを100点満点で評価すると？



子育てに必要なのは？



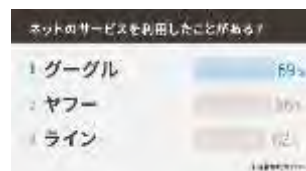
人口減に国・自治体の対応は？



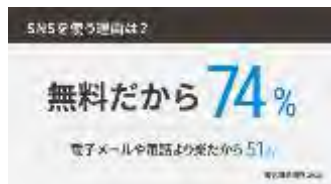
ネット

ネットのサービスを利用した人は、グーグルやヤフーではいずれも6割を超えた。ネットの情報を「信頼できる」は26%、「信頼できない」は13%だった。

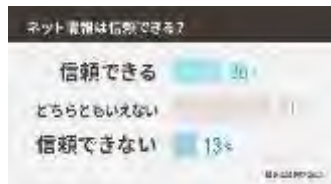
ネットのサービスを利用したことがある？



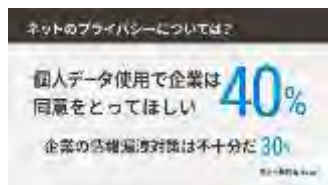
SNS を使う理由は?



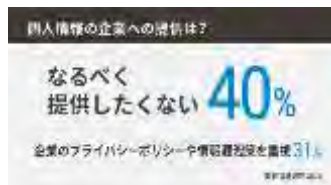
ネット情報は信頼できる?



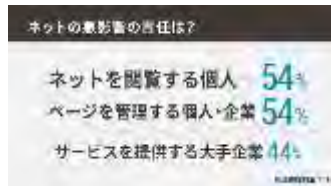
ネットのプライバシーについては?



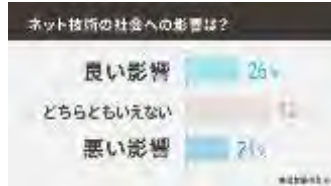
個人情報の企業への提供は?



ネットの悪影響の責任は?



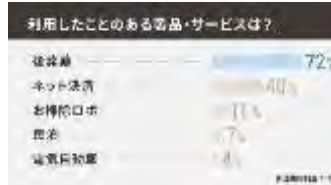
ネット技術の社会への影響は?



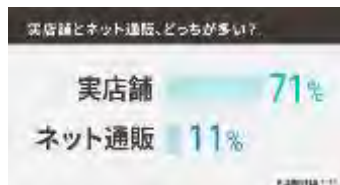
モノとサービス

家計負担が重い費目(3つまで複数回答)を聞いたところ、「食費」が48%で最多だった。「税・社会保障」の40%、「自動車」の25%が続いた。

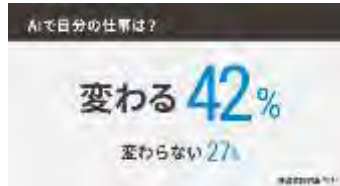
利用したことのある製品・サービスは?



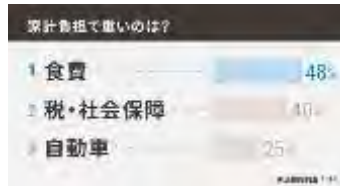
実店舗とネット通販、どっちが多い?



AIで自分の仕事は?



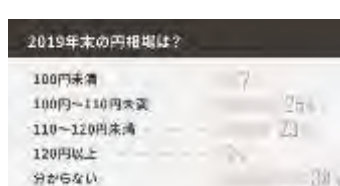
家計負担で重いのは?



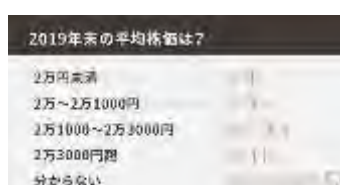
マネー

資産運用について複数回答で尋ねたところ、「預貯金」が67%で最も多く、「保険」の28%が続いた。「運用はしていない」と答えた人は22%だった。

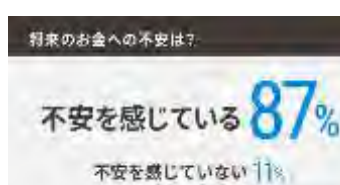
2019年末の円相場は?



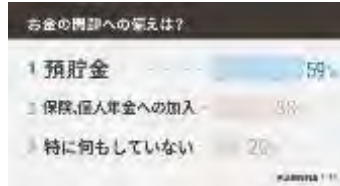
2019年末の平均株価は?



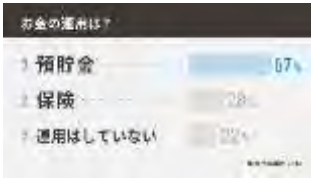
将来のお金への不安は?



お金の問題への備えは?



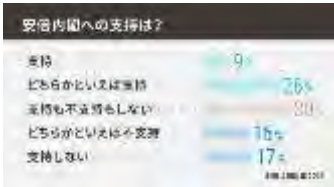
お金の運用は?



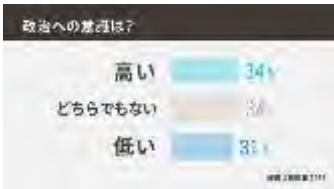
政治・外交

主要国・地域への友好意識では、英仏やオーストラリアなど先進国への好感度が高かった一方で、中国や韓国、ロシアには否定的な回答が多かった。

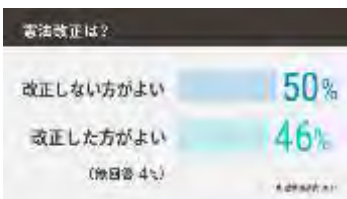
安倍内閣への支持は？



政治への意識は？



憲法改正は？



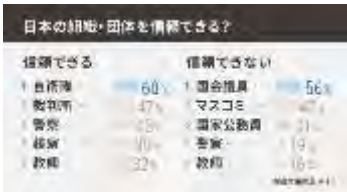
憲法への「自衛隊」明記は？



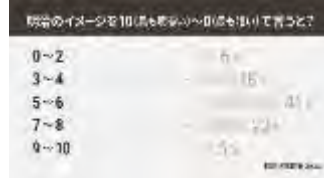
天皇陛下の退位は？



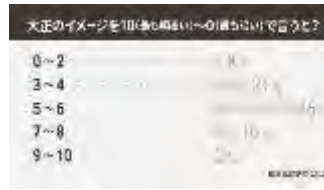
日本の組織・団体を信頼できる？



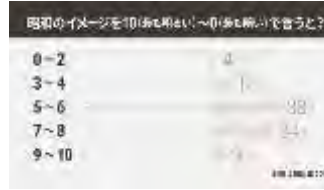
明治のイメージを10（最も明るい）～0（最も暗い）で言うと？



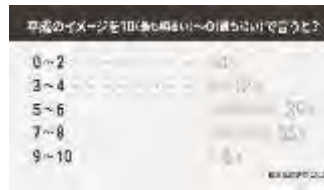
大正のイメージを10～0で言うと？



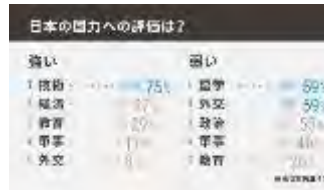
昭和のイメージを10～0で言うと？



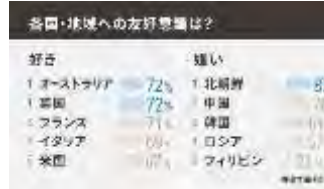
平成のイメージを10～0で言うと？



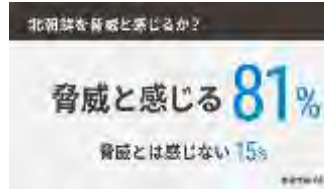
日本の国力への評価は？



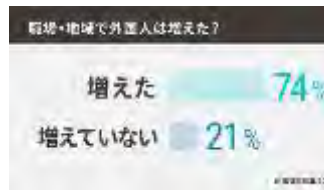
各国・地域への友好意識は？



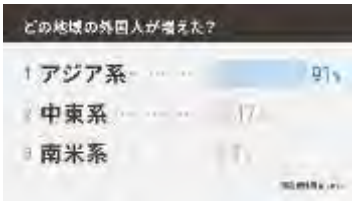
北朝鮮を脅威と感じるか？



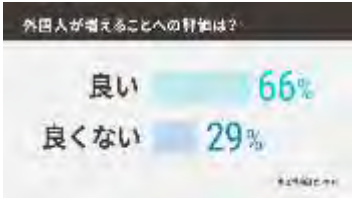
職場・地域で外国人は増えた？



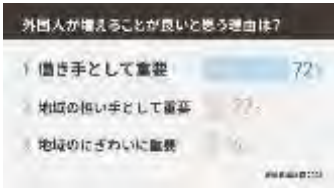
どの地域の外国人が増えた？



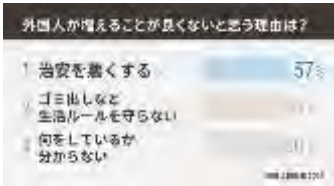
外国人が増えることへの評価は？



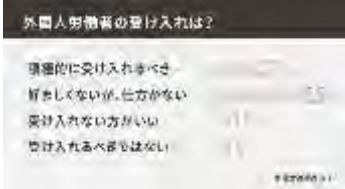
良いと思う理由は？



良くないと思う理由は？



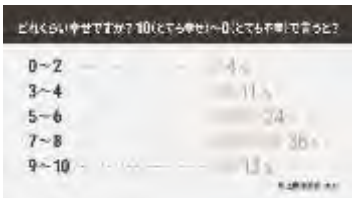
外国人労働者の受け入れは？



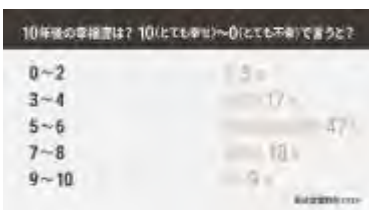
社会・科学技術

夫婦の役割分担を聞いた。炊事や掃除、洗濯について「主に妻が行い、夫も手伝う」が47%。「夫も妻も同じように」は36%、「妻が行う」は12%だった。

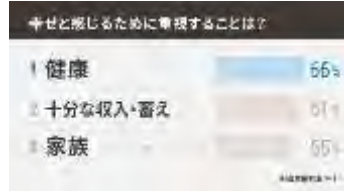
どれくらい幸せですか？ 10（とても幸せ）～0（とても不幸）で言うとうと？



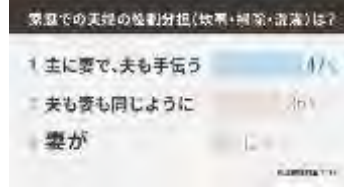
10年後の幸福度は？



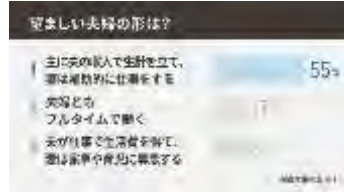
幸せと感ずるために重視することは？



家庭での夫婦の役割分担（炊事・掃除・洗濯）は？



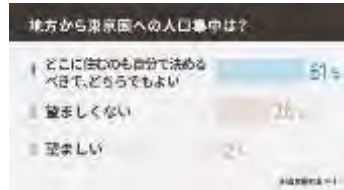
望ましい夫婦の形は？



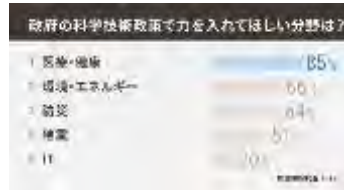
いま住んでいる地域に住み続けたいですか？



地方から東京圏への人口集中は？



政府の科学技術政策で力を入れてほしい分野は？



【産経・FNN合同世論調査】自衛隊の中東派遣、5割が支持 内閣支持率横ばい ゴーン被告主張は「納得できない」9割 産経新聞 2020. 1. 13 11:55

産経新聞社とFNN（フジニュースネットワーク）は11、12両日に合同世論調査を実施した。米国とイランの対立で緊張が高まる中、中東海域の情報収集強化を目的とした海上自衛隊の派遣の是非を尋ねたところ、「賛成」は49%に上り、「反対」の35・3%を上回った。米国とイランをめぐる日本の外交姿勢に関しては「両国との関係を維持する外交をすべきだ」の回答が81・7%に達した。

憲法改正に「賛成」は44・8%で、前回調査（昨年12月14、15両日）と比べ2・2ポイント増えた。「反対」は1・4ポイント減の40・8%だった。安倍晋三首相が在任中に改憲を成し遂げたい意向を示していることを「評価する」の回答は36・

1%にとどまり、「評価しない」が51・3%だった。

安倍内閣の支持率は前回調査と比べ1・4ポイント増の44・6%でほぼ横ばい。前回9カ月ぶりに40%を超えた不支持率は1・4ポイント減の38・9%だった。

立憲民主、国民民主、社民の野党3党に合流を目指す動きがあることを踏まえ、野党の望ましいあり方を聞いたところ、「3党それぞれが独立の政党として協力」が43・5%で最も多く、「3党の合流」は24・1%にとどまった。3党が目指す合流に「大義があると思うか」との質問に「思う」の回答は26・4%で、「思わない」が54・1%を占めた。

政党支持率は、自民党が前回は1・4ポイント増の39・3%。逆に野党第一党の立憲民主党は5・9%と前回より3・0ポイント減らした。無党派層に相当する「支持する政党はない」は39・7%で3・5ポイントの増だった。

昨年10月の消費税率引き上げ後、買い物を「控えていない」と答えた人は71・1%を占め、「控えている」の26・8%を上回った。日産自動車前会長のカルロス・ゴーン被告が逃亡先のレバノンで日本の司法制度を批判し、自身の出国の正当性を訴えたことについては、91%が「納得できない」と回答した。

### 【産経・FNN合同世論調査】憲法改正、支持横ばい 「桜」とIRが景落とす

産経新聞 2020.1.13 17:22

産経新聞社とFNN（フジニュースネットワーク）の合同世論調査で、安倍晋三首相が宿願とする憲法改正に「賛成」との回答は44・8%で、「反対」を4ポイント上回った。賛成の回答は前回調査（昨年12月14、15両日）より微増したが、過半数を占めた昨年11月の水準までは回復せず、依然として首相主催の「桜を見る会」やカジノを含む統合型リゾート施設（IR）事業をめぐる汚職事件が影を落としているようだ。

男女別・年代別でみると、「賛成」と回答したのは男性30代が最も多く69・2%。一方、最も少なかったのは女性の60代以上の25・9%で、「反対」が53・5%に上った。自民党支持層のうち、「賛成」と回答したのは64・1%で、前回（61・2%）とほぼ横ばいだった。

早期の改憲には慎重な回答が相次ぎ、「できる限り早く憲法改正の発議を目指すべきか」との質問には51・5%が「思わない」と回答。首相が改憲を「私自身の手で成し遂げたい」との意向を示していることを「評価する」は36・1%にとどまり、51・3%が「評価しない」と答えた。

自民支持層でも改憲に「賛成」の回答が伸び悩む背景には、桜を見る会やIR汚職事件による政府に対する不信感が払拭できずにいる状況がありそうだ。立憲民主党の枝野幸男代表は「この2つをしっかりと全貌解明していくことをまずやっていかねばならない」と述べ、主要野党は20日召集の通常国会でも追及する構えだ。

自民党は通常国会で、継続審議となっている改憲手続きを定めた国民投票法改正案の成立を目指す。ただ、主要野党は改正案の採決よりCM規制の議論を優先するよう訴えており、国会での改憲議論がどこまで深まるか不透明な状態だ。

（今仲信博）

### 【産経・FNN合同世論調査】米イランの「仲介役」 与野党支持層問わず賛成広がる

産経新聞 2020.1.13 18:14

産経新聞社とFNN（フジニュースネットワーク）の合同世論調査で、米国とイランの対立をめぐる日本政府の外交方針について尋ねたところ、「両国との関係を維持する外交をすべきだ」との回答が81・7%と大勢を占めた。一方、「米国を支持すべきだ」との回答は9・1%、「イランを支持すべきだ」は3・3%にとどまった。

日本は米国と同盟国であるとともに、イランとも伝統的に友好関係を築いている。安倍晋三首相は中東情勢が緊迫化する中、サウジアラビア、アラブ首長国連邦（UAE）、オマーンの3カ国を歴訪。中東の緊張緩和と情勢安定に向けた「仲介役」としての外交努力を続けており、首相の外交方針が支持されているといえそうだ。

「両国の関係を維持する外交をすべきだ」との回答を支持政党別に見ると、与党は自民党84・5%、公明党97・2%。主要野党でも立憲民主党90・2%、国民民主党92・8%、共産党75・6%と総じて高く、日本政府が米、イラン両国の仲介を求める意見が与野党の支持層を問わず、大多数を占めた。

一方、海上自衛隊の中東派遣についても49・0%と約半数が理解を示しており、支持政党別でみると、「賛成」との回答は自民支持層が69・4%、公明も過半数の59・6%が支持した。これに対し、立民支持層の65・6%が「反対」と回答するなど主要野党の支持層は「反対」が過半数を占めた。

年代別でみると、「賛成」との回答は、男性40代と男性30代がいずれも63・3%で最も高く、男性50代（61・2%）が続いた。「反対」は女性40代の42・5%が最高で、女性30代は41・4%、女性60代以上は38・5%となった。

首相は12日放送のNHK番組で、中東派遣について「この地域を通る日本関係船舶の安全を守ることは日本経済にとって死活的に重要であろうと考えている」と意義を説明した。一方、主要野党は情勢の緊迫化などを理由に派遣中止を求めている。1月20日召集の通常国会では激しい論戦が繰り広げられそうだ。

（大島悠亮）

JNN2020年1月13日11時01分

### JNN世論調査、IR「進めるべきだと思わない」約6割

政府がカジノを含むIR＝統合型リゾート施設の2020年代半ばの開業を目指していることについて「予定通り進めるべきだと思わない」と答えた人が、およそ6割に上ることがJNNの世論調査で分かりました。

安倍内閣を支持できるという人は、先月の調査結果より3・0ポイント増えて52・1%でした。一方、支持できないという人は3・0ポイント減って44・7%でした。

秋元司衆議院議員はカジノを含むIR＝統合型リゾートをめぐる汚職事件で逮捕されました。この事件によってIRに対するイメージが悪くなったか聞いたところ、「悪くなった」と答えた人が45%、「変わらない」は46%でした。また、政府がIR施設の2020年代半ばの開業を目指していることについて、整



備を「予定通り進めるべきだと思わない」が59%に上り、「予定通り進めるべき」の28%を大きく上回りました。

総理主催の「桜を見る会」をめぐり、安倍総理による一連の説明について納得しているか聞いたところ、「納得していない」は68%に達しました。

政府による海上自衛隊の中東海域への派遣については「賛成」が35%、「反対」は52%でした。